



出典：Brenner et al., Environ Health Perspect 119, 933, 2011より作成

※相対リスクとは、被ばくしていない人を1とした時、被ばくした人のがんリスクが何倍になるかを表す値です。

チェルノブイリ原発事故の子どもたちの内部被ばく線量と甲状腺がんのリスクの関係については、図のような研究結果が示されています。

それは、甲状腺が1グレイの放射線を受けると、甲状腺がんになる可能性が2倍になるというものです。この研究では、この2倍という数値は18歳までの子どもたちの平均であり、幼児(<4歳)の場合には、これよりも高くなるとされています。

本資料への収録日：2013年3月31日

改訂日：2015年3月31日